



NEWSLETTER

第33号 2001年7月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2268

発行：深井穂博 編集：平居夕紀子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

一年が経って 今年度の取り組み

JAICOH会長 深井穂博

会長をお引き受けしてから一年が経ち、事務局も関東に移転しました。

JAICOHの役割は、国際保健医療協力を実践したいという方への情報提供や支援であり、現在活動している人たちの情報交換の場であり、ネットワーク作りの場であると考えて企画運営を行なってきました。幸い昨年秋季開催のフォーラム00や、この七月一日に、総会に併せて開催したワークショップ01では、多数の団体や個人が集い国際協力に関する交流の場を提供することができました。

今年度の主な取り組みとしては、学生研修を中心とした「フォーラム」「シースプロジェクト」「国際歯科保健医療NGOダイレクトリー」の作成があります。

今回のニュースレターではシースプロジェクト助成団体の紹介と新連載企画「私の国際協力」を主な内容にしています。このニューズレターを通して、JAICOHの活動経過と広く国際保健医療協力に関する情報提供をはかっていきたいと考えています。

国際協力の現場から 私の国際協力

ネパール歯科医療協力会小宮愛恵

「ナマステ」ネパールでの朝は、この一言と笑顔で始まります。

私が国際協力に関心を持つようになったのは、高校時代にマザー・テレサのドキュメンタリーを見て、彼女の生き方に感銘を受けたことがきっかけでした。それからは歯学部生時代に途上国に関する様々な情報を集め、国際協力に関わっている諸先輩方にお会いして、現場の様子を拝聴していました。未熟ながらも私なりの「国際協力」を模索していたのです。

そして研修医一年目に、初めて「ネパール歯科医療協力会」の活動に参加しました。一九八九年より始まったネパール歯科医療協力会の活動は、主に歯科保健、歯科治療、調査などが行われていて、この一〇年の間に歯科診療中心から歯科保健中心に、日本側主体から住民主体へと変わってきていました。

実際に現場に行くまでの自分は、「国際協力とはこうあるべきだ」などの理想論が先行していたり、日本の医療しか知らないため、ネパールに

も日本の医療のシステムをあてはめて考えたりしていました。

しかし、現場に行つて初めて、「こうあるべきだ」的発想や日本の医療の制度をネパールに持ち込んでも通用しないことを肌で感じ、悩んだり戸惑つたりしました。

そのような心の葛藤を経て学んだことは、国際協力を行うときは、実際に現場に立ち、現場の問題をそこで生活している人々と共に考え、解決していくことが大切であるということです。「ネパール歯科医療協力会」が、時の経過と共に活動内容が変化してきているのは、まさにそのことを重視しているからだと思っています。

そしてもう一つ学んだことは、NGO活動を通して「何かをしてあげたい」と思っていた自分の方がかえって、「考えるきっかけ」を与えてもらつたり、たくさんの方を教えるもらつていくということでした。

このことに気づいたのは、現地の村を訪ね、一緒に食事をしたりして直に交流をしたからだと思つています。現地の人との心の交流が国際協力でも最も大切なことであり、活動提供側、受け入れ側のどちらかが上であり、どちらが下ということは決してないのです。

このような経験を通して思うことは、国際協力を行っている方々は、常に様々な壁におつきりながらも、一つ一つの問題を解決し、活動を継続してきて、そのことがその方々の財産であるということだと思います。

これからのJAICOHに望むことは、各人が自らの貴重な活動の経験を持ち寄り、情報や経験を交換する場（協議会）として機能してゆくことです。そうした情報の交流によりもう一度自分たちの活動を見直したり、よりいっそう望ましい活動へのヒントを得たり、さらには今後国際協力を行うおとする方々への発信の場となつてほしいと思います。

シーズプロジェクト助成団体紹介
アジア太平洋歯科学学生会議 (APDSA) 日本大会開催に向けて
APDSA会長 百瀬智彦

私たちアジア太平洋歯科学学生会議は、環太平洋地域の歯科医学生との交流を深めることを趣旨とした歯科学学生の国際組織です。それぞれの国や地域の学生たちとの交流が良い刺激となつて、歯科学生としての高い意識と深い興味が促され、さらなる結びつきが発展して行くことを望んでいます。

国際化が叫ばれている昨今、歯科学生も例外ではありません。しかし、残念ながら、多くの学生が広い世界への第一歩が踏み出せないでいるのが現実のようです。

各国の新しい医療形態や、より進んだ技術などの情報を吸収し、また高齢化の進む現在、北欧を始めとする欧米諸国の医療システムから学ぶうとする広い視野を持つ事は大切だと思います。国内はもちろん、アメリカ・東南アジア諸国など、医療制度や衛生教育の立ち遅れている国々における医療、保健についても先んじている国にある私たちが出来ることも数多くあると思っています。

APDSAは今までこういった事に興味があつてもどうしたらよいか分からなかつた学生たちに、なにかを始める機会を与える事ができると思っています。

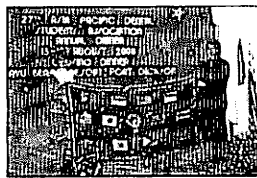
アジア諸国の学生たちの英語力の高さには舌を巻きます。そのコミュニケーション能力の高さは、より深い知識を身につけ、より広い視野を持ちたいという願いであるように感じました。

私たちも「彼らと通じたい」その一心で、新たな気持ちで英語に向き合い、知り合った多くのアジアの友

人たちと電子メールやチャットなどで連絡を取り合う事で彼らがより身近になりました。

この活動を通じて日本の歯科学生の「世界への第一歩」になればと思っています。

現在私たち日本会員は、八月に東京で開催される大会に向けて、一丸となり準備に当たっています。参加してくれる方、協力してくれる方、ご連絡ください。



第28回APDSA本大会

後援：日本歯科医師会、アジア太平洋歯科学連盟

会期：平成13年 8月10日～16日

会場：代々木オリンピックセンター

詳細：<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/9030/>
 加盟国・地域：オーストラリア、ニュージーランド、カンボジア、フィリピン、香港、シンガポール、インドネシア、大韓民国、日本、台湾、マレーシア、タイ

質問・参加方法は右記までどうぞ e-mail: apdsa_jc@hotmail.com

JAICOH NEWS LETTERは、下記の名社のご協力を得て作成されております

11か国語対訳 歯科診療会話集
 田信けい子

1ページ1会話文とし、約370の会話表現に「英語」「インドネシア語」「中国語」「ポルトガル語」「タイ語」「韓国語」「アラビア語」「スペイン語」「ベトナム語」「ミャンマー語」「シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判141P ●定価(本体3,000円)十税 ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
 TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎日……」
 「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
 ホームケア歯ブラシ

〈ホームケア〉歯ブラシ 0120-118418
 株式会社 永山 FAX 0120-648581

「GC」

はじめての
コンジット直接充填!
 はじめての**1液性セルフエッチングプライマー!**

ユニファイルF ■長期的なフッ素の徐放。 ■ピタシェード5色+A03, CV.

ユニファイルボンド
 ■湿和不変、感便2ステップ。
 ■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
 DICフリーダイヤル 0120-416480

シースプロジェクト助成団体紹介
老人保健施設での口腔保健活動
 東京歯科大学国際医療研究会 中村彩花

私たちの研究会は、将来途上国の高齢者や障害者の口腔介護をするためのトレーニングとして、痴呆の方が多く入院または通院されている老人保健施設「うらら」において、口腔ケアボランティアを行っています。

私たちはまだ学生の為、義歯洗浄、ブラッシングなどの他、食事介助やシーツ交換、また、みんなで踊る民謡会、ピアノやヴァイオリンによる音楽会の実施など、出来る範囲で一生懸命お手伝いさせていただいています。

実際に参加してみると様々な印象を持つようで、参加後の感想を尋ねると、

「初めて行った時、何をすればよいのか分からず、立ちすくんでしまった。慣れないうちは本当に辛いと聞いていたが考えてるよりずっと辛かった」「コミュニケーションをとろうとしても、突然怒り出したり、何度も同じ事を言う人がいて泣きそうになった」「もともと高齢者医療に興味があったので参加した。高齢者医療に対する

考え方がより深いものとなった」

「一年生は教養科目ばかりで、ふと歯学部であることを忘れがちだが、一緒に参加している先輩に話を聞いたりと、義歯洗浄、口腔内洗浄をするなどで徐々に実感が湧きつつある」などの感想が寄せられます。

大声で叫んでいる人、今まで笑っていたのに突然泣き出す人、あっちへ行けと誰も寄せ付けない人、床に寝転がっている人……。私も初めて施設の中に入った時は、しばらくまったく動けませんでした。しかし努めてニコニコし、「今日の調子はいかがですか」と話しかけて行くこと喜んでくださる方も多く、また最近の記憶がはつきりしない方でも、幼いのころの記憶というものはやはり特別なものなのか、子供の頃の話、故郷の話を楽しそうに話されます。

慣れないうちは、とにかく「ご飯を食べてもらわなきゃ、歯を磨いてもらわなきゃ」という事はばかりが頭にあっただですが、「必要以上に意気込まない」「肩の力を抜いたコミュニケーションから始めよう」と気がついた今、とてもやりやすくなりました。そしてその事は私に、初対面の人とでも正面から向かい合う勇氣を与えてくれたように思います。

平成十一年一〇月に参加者三人から始まったこの活動も、今では月二回、二〇人近くの学生が集まるようになりました。これからも頑張ってくださいたいと思っています。



「うらら」での活動の様子。入所者からも、私たちからも笑顔がこぼれるようになった

シースプロジェクト助成団体紹介
ミャンマースタディツアー報告
 東京歯科大学国際医療 門井謙典 研究会

東京歯科大学国際医療研究会主催で、昨年二月二十五日より三〇日、ミャンマー歯科保健協力活動を実施しました。参加者は東歯大以外からも募り、歯科大生六名（東歯大、鶴見大、日本大、九州大）、引率教官二名の総勢八名でした。

現地での活動は、ヤンゴン歯科大学学長、ミャンマー歯科医師会会長、

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
 ハンドピースは、
 世界中の先生方に
 愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
 〒322-8866 栃木県鹿沼市上日向340

世界の
 歯科医療に貢献する

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康へのゲートであり、幸福のシンボルです。いくつになっても、さわやかな笑顔で人生を楽しく過ごしていただきたい。歯科医療に関わるものとして、松風の究極の目標はそこにあります。

株式会社 松風
 〒105-8565 東京都港区赤坂1-1-1 TEL:03-5611-2111

むし歯の新しい処置と予防 全4巻
 監修 長崎大学歯学部 飯島洋一

- むし歯ってどうしてできるの？
 - 脱灰と再石灰化のはなし -
- おうちでできるむし歯予防
 - 脱灰をふせくセルフケア -
- むし歯のはじまり(脱灰)の処置
 - フロフェッショナルケア -
- 上手につかってむし歯予防
 - 再石灰化をたすける物質 -

各巻定価(本体)2,000円(税別)
 4巻セット定価(本体)45,000円(税別)

De 株式会社 デンタルダイヤモンド社
 〒113-8554 東京都千代田区亀田5-1-14 TEL:03-5611-2111 FAX:03-5611-2107 <http://www.dental-diamond.co.jp>

保健省への表敬訪問、ヤングン歯科大学附属病院、ヤングン総合病院、保健センターなど医療施設、WHOのモデル地区となっている小学校での歯科保健プログラムの見学、郊外でのフィールド活動・歯科検診の実施など短期間の日程ながら、多くのプログラムをこなすものでした。

私自身、ミャンマーを訪れるのは初めてで、出発前は様々な不安がありました。しかし、実際に訪れてみると、親日家が多く、気候も程良く、とても過ごしやすい国でした。

そして、訪れたバゴダ、タナカ、ロンジーなどの各地域の文化の違いに大きく感銘を受けました。

一番印象深く残っているのは小学校で検診を行ったときの子どもたちの行儀の良さでした。リズムのよい歯磨きの歌に合わせて、きれいに歯を磨き、私語は慎み、先生や私たちの質問を聞き、声を揃えて答えます。今日、学級崩壊が問題視されている日本と比べると大いに見習うべき点だと思えます。

今回、多くの大学や病院を見せていただいたのですが、医師はその際、一人一人の患者さんの前で、カルテやレントゲンを隣に、口の中を開かせながら「この人はこういう症状で

あり治癒不可能です」「おそらくキャンサー（癌）でしょう」などと言いながら見せてくださいました。中にはかなり稀な疾患もあり、興味深かった一方、患者さんの目の前で、しかも、まだ医師でも研究者でもない私たちにそんなことをするなんて、日本ではプライバシーの概念からも、とても考えられないことであり、非常に胸が痛みました。

ツアー企画から実施に至るまで、多くの時間を費やし、成功までの道りは五里霧中という感じでしたが、帰国した今になれば、短い期間なれどミャンマーという国を良き仲間と共に感じることが出来、非常に満足しております。

新しい風

自分達の目指す国際協力とは

白倉健司

私たちは今年、国際保健部を設立します。ゼロからNGO団体を作り上げて行こうと奮闘中です。

その第一歩として昨年、途上国の実態を理解するために学生のみでカンボジアを訪れ、ボランティア施設、郡病院や村のヘルプセンター、集会所そして各家々を周り、市民の生活

の様子、歯科医療の実態などを視察しました。日本では想像もしていなかった。数々の衝撃的な現実を目の当たりにし、ショックを受けました。同国の歯学部卒業者はみな、首都プノンペンに開業してしまつたため、郡病院の歯科で診療しているのは歯科医師の免許を持たない人でした。街には多くのストリートチルドレンがいました。

自分たちの足で動き、町や人々を学ぶ事に重点を置き、色々視察し人々とふれあつた結果、カンボジアの人々が現在求めている医療ボランティアは第一に「命を守る、つまり死にいたる病気を治す」という事であり、次には「病気になるらない、つまり病気を予防する」「病気によって生活に支障がある事を防ぐ」という事であるという結論にたどりつきました。また私たちは将来を見据え、現地の歯科医師に対する技術、知識の教育も必要であると感じました。

帰国後会合を持ち、う蝕予防に主眼を置くボランティアを目指そうという事。それも対症療法的なものではなく、自らが意志を持つてう蝕予防を行える為に、手製でデンタルフロスのような物を作る事の指導を行ったり、学校でのフッ素洗口の普及

に力を入れて行こうと考えました。日頃から私達のNGOにアドバイスを下さっている日大松戸歯学部、有川先生・小林教授、明海大学の宮田教授、JAICOHの方々、今後とも御指導のほど、よろしくお願いたします。

下記のご協力を得て作成されております

スーパーボンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活歯牙質切削面の保護に

信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル：0120-418-303
URL: <http://taihei.co.jp/sunmedical/>

事務局通信

▼事務局移転に伴い、会計担当理事が、白戸洋さんから小原真和さん（東京都品川区開業）に変更されました。それに伴い、今年度の会費請求や振り込み先などが変更されますので、よろしくお願いたします。

▼ニューズレターに対する皆さんのご意見をお寄せください。